

経済学部の中国語教育に関する一考察（四）

竹 中 佐英子

1. テーマ選定理由

筆者は現在、東洋大学経済学部国際経済学科（以下「国経」）において、1年生選択必修科目「中国語Ⅰ（文法）」、2年生選択必修科目「中国語Ⅱ（文法）」（以下「中Ⅱ文」）を担当しているが、その履修者に対し、中国語検定試験（以下「中検」）を受験することを勧め、中検に出題される語彙と文法を重点的に教える教材を自ら作成し、授業中に指導している（詳細は竹中 2014. p45）。筆者が中検の受験を勧めているのは、▼学習者が自身の中国語力を客観的に把握し、学習成果を実感できる▼合格していると、就活で有利になる▼経済学部には初習外国語（独仏中）検定試験受験者に対し、検定料を補助する制度がある——という3つの理由による（詳細は竹中 2014. p37～38）。検定料補助制度が設立される以前、国経の中検受験者は年間2～3人しかいなかったが、制度設立後の2013年6月には約30人が受験、うち21人の合格が確認されている¹⁾。これは中検の受験指導が一定の成果を上げていることの表れである。一方、▼リスニング部分の得点率が低い▼難易度の高い級（グレード）の合格者が少ない——という問題も存在している（詳細は第3章第1節表3、および竹中 2014. p47～48参照）。中検指導の当面の急務は、リスニング力を向上させ、難易度の高い級の合格者を増加させることである。

本稿は、まず中検リスニングおよびその教育法について紹介し、次に国経中国語履修者の中検リスニングおよび学内リスニング試験の成績を分析し、履修者のリスニングにおける困難点を分析した上で、リスニング教育法、中検受験指導に対して提言を行う。

2. 中検リスニング紹介

本章では、中検リスニングの内容、およびその教育法について紹介する。

1) ここで「21人の合格が確認されている」と書いたのは、2013年6月に中検を受験したが、筆者にはその可否を報告しに来ない学生が一定数存在していることによる。筆者が受験を把握することのできた履修者については、その受験級、可否、得点の詳細を、竹中 2014. p45～48で紹介している。

2. 1. 中検 4 級リスニング紹介

本節では、中検の中では難易度が 2 番目に低い 4 級の、リスニング試験について紹介する。

中検協会 HP によると、中検 4 級合格の目安となる学習時間数と語彙数は、「120～200 時間。一般大学の第二外国語における第一年度履修程度。常用語 500～1,000」となっている。試験時間は 100 分間、最初に約 30 分間のリスニング試験があり、続いて筆記試験を行う。満点はリスニング、筆記それぞれ 100 点、合格基準点はリスニング、筆記それぞれ 60 点以上で、どちらか一方でも合格基準点に達していないと合格できない。

リスニング試験は計 30 問、全問マークシートによる選択式で解答する。問 1 (資料 1) は「一問一答」で、中国語の質問に対する適切な解答を選択する。問 2 (1)～(5) (資料 2) は「会話聴解」で、2 人の会話とそれに関する質問を聞き、会話の内容に即した解答を選択する。問 2 (6)～(10) (資料 3) は「長文聴解」で、中国語の長文とそれに関する質問を聞き、長文の内容に即した解答を選択する。問 1 と問 2 (1)～(5) は、問題用紙に番号が振られているだけで、中国語の質問、選択肢、会話文は一切印刷されていない。問 2 (6)～(10) は、問題用紙に番号と中国語の質問が印刷されている。

【資料 1】 (1)～(10) の中国語の問いを聞き、答えとして最も適当なものを、それぞれ①～④の中から 1 つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。(第 82 回 4 級)

(1) 对不起, 我来晚了。(ごめんなさい、私は来るのが遅くなりました。)

① 没关系, 你说得对。(構いません、あなたがおっしゃる通りです。)

② 没关系, 我也刚来。(構いません、私も来たばかりです。)

③ 没关系, 这个很便宜。(構いません、これは安いです。)

④ 没关系, 明天不太热。(構いません、明日はあまり暑くありません。)

【資料 2】 中国語を聞き、(1)～(5) の問いの答えとして最も適当なものを、それぞれ①～④の中から 1 つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。(1)～(5) の問いは音声のみで、文字の印刷はありません。(第 82 回 4 級)

A : 中村, 你什么时候回日本? (中村君、君はいつ日本に帰るの?)

B : 下星期四。(来週の木曜日だよ。)

A : 东西都准备好了吗? (荷物はもうちゃんと準備したの?)

B : 还没有。今天才星期六, 来得及。(まだなんだ。今日はまだ土曜日だから、間に合うよ。)

A : 这个星期天你打算干什么? (今週の日曜日、君は何をする予定なの?)

B : 上午去北京大学, 下午买礼物。(午前中は北京大学へ行って、午後はプレゼントを買うんだ。)

(以下省略)

(2) 这个星期天上午他打算干什么？(今週の日曜日の午前、彼は何をするつもりですか？)

- ① 去上海旅行。(上海へ旅行に行く。)
- ② 给爷爷买酒。(おじいちゃんにお酒を買う。)
- ③ 去北京大学。(北京大学へ行く。)
- ④ 回日本。(日本へ帰る。)

【資料3】 中国語を聞き、(6)~(10)の問いの答えとして最も適当なものを、それぞれ①~④の中から1つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。(第82回4級)【注】(6)~(10)の問いは印刷されている。

我是小学六年级的学生。我家离学校很近，早上八点半上课，我每天都七点起床，可是今天五点就起来了。为什么呢？昨天是我的生日，爸爸送给了我一辆自行车。我还会骑自行车，想去附近的公园里练习。六点半以后，公园里的人就多了，所以，我要早点儿去。(以下省略)

(僕は小学6年生の生徒です。我が家は学校から近く、朝8時半に授業が始まるので、毎日7時に起床しています、でも今日は5時にはもう起きてしまいました。何故でしょう？昨日は僕の誕生日で、お父さんが僕に自転車を1台プレゼントしてくれました。僕はまだ自転車に乗れないので、近くの公園へ行って練習したいのですが、6時半になると、公園内の人が多くなるので、僕は早めに行きたかったのです。)

(8) 我今天为什么六点半以前去公园？(“僕”は今日何故6時半より前に公園へ行ったのですか？)

- ① 因为公园离我家很近。(公園は我が家から近いから。)
- ② 因为那时候公园里人少。(その時間なら公園内は人が少ないから。)
- ③ 因为公园离我家比较远。(公園は我が家からわりと遠いから。)
- ④ 因为那时候公园里人多。(その時間は公園内は人が多いから。)

2.2. 中検3級リスニング紹介

本節では、中検の中では難易度が3番目に低い3級の、リスニング試験について紹介する。

中検協会HPによると、中検3級合格の目安となる学習時間数と語彙数は、「200~300時間。一般大学の第二外国語における第二年度履修程度。常用語1,000~2,000」となっている。試験時間は100分間、最初に約30分間のリスニング試験があり、続いて筆記試験を行う。満点はリスニング、筆記それぞれ100点、合格基準点はリスニング、筆記それぞれ65点以上で、どちらか一方でも合格基準点に達していないと合格できない。

リスニング試験は計30問、全問マークシートによる選択式で解答する。問1(1)~(5)は、中検4級の問1(資料1)と同じ形式の「一問一答」である。問1(6)~(10)(資料4)は「二問三答」で、A

さんとBさんの会話を受けたAさんの適切な答え方を選択する。問2(1)~(5)は、中検4級の問2(1)~(5) (資料2)と同じ形式の「会話聴解」である。問2(6)~(10)は、中検4級の問2(6)~(10) (資料3)と同じ形式の「長文聴解」である。問1と問2(1)~(5)は、問題用紙に番号が振られているだけで、中国語の質問、選択肢、会話文は一切印刷されていない。問2(6)~(10)は、問題用紙に番号と中国語の質問が印刷されている。

【資料4】 (6)~(10)のAとBの対話を聞き、Bの発話に続くAのことばとして最も適当なものを、それぞれ①~④の中から1つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。(第82回3級)

(6)A：请问，机场里有邮局吗？（お尋ねします、空港内に郵便局はありますか？）

B：没有。邮局在机场南边儿。（ありません。郵便局は空港の南側にあります。）

①离这儿远不远？（ここから遠いですか？）

②我也是刚从南方来的。（私も南方から来たばかりです。）

③机场里的邮局已经下班了。（空港内の郵便局はもう閉まりました。）

④你想去邮局干什么？（あなたは郵便局へ行き何をしたいのですか？）

2.3. 中検リスニング教育法紹介

本節では、中検リスニングの教育法について紹介する。

筆者は第83回中検（2014年6月実施）の前、授業時間外²⁾に計5回、1回当たり約1時間、中検4級・3級リスニング試験の課外指導を行った。中検4級指導は10人、中検3級指導は2人が受講した。4級指導には、郭春貴著『中国語検定対策3級・4級リスニング編』（白帝社）、3級指導には過去に出題された問題（以下「過去問」）を用いた。郭春貴著の教材の中検4級対策の部分は、「一問一答」(資料6)と「長文聴解」(資料3)の模擬問題で構成され、「一問一答」は「動作と目的語について」「状態について」など、質問のテーマ別に10種類計40問、「長文聴解」は6種類計30問、掲載されている。

【資料5】 中検リスニング課外指導で用いた単語一覧表

簡体字	日本漢字	ピンイン	(品詞) 意味
1 你		nǐ	(代) あなた

2) 授業時間内に中検リスニングの指導を行わなかったのは、▼リスニングと筆記に出題される語彙や文法は重複しており、リスニング練習をする前に一定量の語彙量と文法知識を蓄積しておかないと、リスニング試験が解けない▼筆記に出題される文法項目を全て教授するには、毎回90分間の時間が必要である——という2つの理由による。中検筆記試験の教育法は、竹中2014. p44~45で紹介している。

2	叫	叫	jiào	(動) …という名前である
3	什么	麼	shénme	(代) 何という；どんな
4	名字		míngzi	(名) 名前
5	他		tā	(代) 彼
6	是		shì	(動) …です；…である
7	留学生		liúxuéshēng	(名) 留学生
8	我		wǒ	(代) わたし；私
9	王明		Wáng Míng	(名) 王明 (ワン・ミン) 【注】中国人の名前

【資料6】『中国語検定対策3級・4級リスニング編』（白帝社）一問一答より

問：你叫什么名字？（あなたは何という名前ですか？）

- ①他是留学生。（彼は留学生です。）
- ②我是留学生。（私は留学生です。）
- ③他叫王明。（彼はワン・ミンという名前です。）
- ④我叫王明。（私はワン・ミンという名前です。）

指導現場ではまず、問題に登場する単語を一覧表で提示し（資料5）、受講者に配布する。次に、問題が録音されたCDを聞かせ、模擬問題や過去問を解かせる。解答する時、単語一覧表を見るか否かは受講者に任せたが、全ての受講者が単語一覧表を見ながら解答していた。解答し終わったら、もう1度CDを聞かせ、受講者を1人ずつ指名して日本語に訳させ、音声中国語の意味と問題の正解を確認する。正解を教える時は、「質問“你叫什么名字？”の意味は“あなたは何という名前ですか？”ですから、正解は“我叫王明”“私はワン・ミンという名前です”と、私の名前を答えた、選択肢4番です」と言うだけでなく、「質問文で“あなたは？”と尋ねたのですから、その答え方は“私は…”でなければなりません。ところが、選択肢3番は“他叫王明”“彼はワン・ミンという名前です”と、質問に対して主語を変えて答えていましたね。このように、質問と答えの主語がかみ合わない選択肢が有ったら、真っ先にはじいてください」など、リスニングを解く際のテクニックも指導する。受講者が日本語訳と正解を確認した後、印刷された全文を（資料6）を配布し、最後にもう1度CDを聞かせる。

3. リスニング成績分析

本章では、国経中国語履修者の中検リスニング、および学内リスニング試験の成績を分析する。

3.1. 中検リスニング分析

本節では、国経中国語履修者の中検リスニングの成績を分析する。

国経中国語履修者の2年生用科目「中Ⅱ文」には、4つのコース（クラス分け）がある。国経2年生で、1年生秋学期末に実施した中国語統一試験の高得点者はインテンシブコース（以下「インテン」）、それ以外の国経2年生は教務が指定した2・3・4コースのいずれかに振り分けられ、履修する。1コース当たりの人数は22～26人である。

表1, 2, 3は2014年度春学期「中Ⅱ文」履修者のうち、第83回中検（2014年6月実施）準4級、4級、3級を受験した者の可否と得点を、1人ずつ示したものである。2・3・4コースの受験者はそれぞれ2～4人ずつだったが、履修者を成績上位者だけに限定したインテンは合格率が高いと予測されたので、「中検未受験者の定期試験の成績が不良である場合、単位取得できない」という評価基準を設け、全員を受験するように仕向けたところ、履修者22人中20人が受験した。

まず表1を見るに、第83回中検準4級³⁾を受験した者は計9人で、全員が合格した。準4級全受験者（協会HPは1,593人と発表）と比較すると、国経の準4級受験者は合格率で18.6%、合計点で17.1点、平均値を上回っている。次に表2を見るに、第83回中検4級を受験した者は計19人で、そのうち合格したのは16人だった。4級全受験者（協会HPは2,630人と発表）と比較すると、国経の4級受験者は合格率で21.71%、リスニングで3.4点、筆記で8.75点、平均値を上回っている。これらの結果は、国経の準4級、4級受験者が全国の準4級、4級受験者に比べ、高得点で合格していることを示している。高得点での合格は、更に上のレベルの級を目指す学習動機につながるので、この状況を維持できるよう、努力を続けていく。

表2からはリスニング教育法に対し、2つの問題点が見えてくる。

1つは、国経の中検4級受験者の中に、リスニングが合格基準点に達せず、不合格になった者が2人いたことである。筆記では、インテンYが10点、インテンZが21点、上回ったが、リスニングでは、インテンYが10点、インテンZが35点、下回った。リスニングと筆記の得点差は、インテンYが20点、インテンZに至っては56点もある。語学教育は聞く、話す、読む、書く、訳すという5技能をまんべんなく伸ばさなければならないが、一部の履修者のリスニングと筆記の成績が乖離しているのはゆゆしき問題である。この問題は別の機会に考察したい。

もう1つの問題点は、リスニングの課外指導（詳細は第2章第3節参照）を受講したグループのリスニング平均点（74.44点）が、受講しなかったグループの平均点（80点）を5.56点下回ったことである。上述の課外指導（第2章第3節参照）が功を奏さなかった理由は2つ考えられる。1つは

3) 中検準4級は中検の中で難易度が最も低い。リスニング試験、筆記試験の内容については、竹中2014. p38～40で紹介している。

表 1. 第83回中検準 4 級受験状況

	合格率 合否	合計点 (100点満点)	リスニング (50点満点)	筆記 (50点満点)	インテンリスニ ング(5点満点)
合格基準点		60点			
全受験者平均点	81.4%	73.9点	(非公開)	(非公開)	
東洋国経平均点	100%	91点	43.8点	47.2点	
インテンA	合格	98点	48点	50点	4点
インテンB	合格	96点	46点	50点	5点
インテンC	合格	96点	46点	50点	3点
インテンD	合格	96点	46点	50点	4点
インテンE	合格	94点	44点	50点	5点
2 コースF	合格	90点	44点	46点	(未実施)
2 コースG	合格	90点	44点	46点	(未実施)
インテンH	合格	88点	42点	46点	1点
2 コースI	合格	72点	34点	38点	(未実施)

教育法である。筆者は課外指導の際、問題に登場する単語を一覧表にして配布した（資料 5）。第 1, 2 回目は、受講者全員が単語表を常に見て理解していた。しかし 3 回目以降になると、単語表から目を離して答える時間が長い受講者と、常に単語表を見ないと答えられない受講者に分かれた。後者は、この教育法によって音だけから意味を理解する技能がつかめなかったことを示す。もう 1 つの理由は、4 級リスニングの会話、長文と選択肢の関連性が強いことにある。4 級リスニングでは、会話、長文に登場したのと同じ単語やフレーズを含む選択肢を選べば正解になる、という問題が多い。例えば、資料 2 「会話聴解」問 2 は、“这个星期天上午他打算干什么？”（今週の日曜日の午前、彼は何をするつもりですか？）という質問だが、会話の中に“这个星期天你打算干什么？”（今週の日曜日、君は何をする予定なの？）と、主語だけが異なる質問があり、その直後に“上午去北京大学，下午买礼物。”（午前中は北京大学へ行って、午後はプレゼントを買うんだ。）という答えが続く。仮に受験者が“上午去北京大学”の意味を理解できなくても、選択肢は①去上海旅行。（上海へ旅行に行く。）②给爷爷买酒。（おじいちゃんにお酒を買う。）③去北京大学。（北京大学へ行く。）④回日本。（日本へ帰る。）——の 4 種類だから、会話の中に出てくるのと同じ音を含む選択肢③を選べば正解になる。加えて、満点の 4 分の 1 の配点を占める長文聴解では、問題用紙に質問が印刷されている。受験者は質問から時間、場所、登場人物、背景、行動方式など、長文の内容をある程度予測することができ、難易度は「一問一答」「会話聴解」より下がる。玄書君 2004. p217 も、「文字資料がある問題は、それが無い問題より簡単だ。何故なら文字資料が無い問題では、学生は長文の内容を覚えておく他、短い時間内に質問の意味を記憶、理解して、正誤や選択肢を判断しなければならないからだ」と指摘している。

表2. 第83回中検4級受験状況

	リスニング受講	合格率 合否	合計点 (200点満点)	リスニング (100点満点)	筆記 (100点満点)	インテリス ニング(5点満点)
合格基準点				60点	60点	
全受験者平均点		62.5%	(非公開)	72.6点	68.0点	
東洋国経平均点		84.21%	152.75点	76点	76.75点	
リスニング受講平均点			154.98点	74.44点	80.54点	2.9点
リスニング未受講平均点			158.12点	80点	78.12点	2.636点
インテンC	有	合格	192点	95点	97点	3点
インテンJ	無	合格	189点	100点	89点	0点
インテンK	有	合格	181点	100点	81点	4点
インテンE	有	合格	180点	100点	80点	5点
インテンL	無	合格	174点	85点	89点	1点
4コースM	無	合格	170点	85点	85点	(未実施)
インテンN	有	合格	165点	80点	85点	4点
3コースO	有	合格	157点	75点	82点	(未実施)
2コースP	無	合格	156点	80点	76点	(未実施)
インテンQ	無	合格	154点	70点	84点	3点
4コースR	有	合格	150点	80点	70点	(未実施)
3コースS	有	合格	144点	80点	64点	(未実施)
インテンT	無	合格	142点	80点	62点	1点
インテンU	無	合格	142点	70点	72点	3点
インテンV	有	合格	139点	60点	79点	2点
2コースW	無	合格	138点	70点	68点	(未実施)
インテンX	有	不合格	133点	75点	58点	2点
インテンY	無	不合格	120点	50点	70点	2点
インテンZ	有	不合格	106点	25点	81点	2点

以上の分析結果は、4級リスニングには指導が必要ないことを意味するものではなく、文字資料のヒント（単語表）に頼りながら模擬問題を解く教育法があまり効果的ではないことを示すものである。

表3を見るに、第83回中検3級を受験した者は2人で、合格者はゼロだった。3級全受験者（協会HPは3,276人と発表）と比較すると、国経の3級受験者はリスニングで12.8点、筆記では11.7点、平均値を下回っている。この結果は、国経の3級受験者が全国の3級受験者に比べ、リスニング力、語彙や文法の知識が劣っていることを示している。注目したいのは、2人の受験者の得点である。2人は共にインテンに所属、リスニング課外指導を受講、筆記もリスニングも同様の指導を受けた。筆記では、インテン α が51点、インテン β が55点、差が4点に留まったに対し、リスニングでは、

表3. 第83回中検3級受験状況

	合格率 合否	合計点 (200点満点)	リスニング (100点満点)	筆記 (100点満点)	定期試験リスニ ング (5点満点)
合格基準点			65点	65点	
全受験者平均点	44.2%	(非公開)	70.3点	64.7点	
東洋国経平均点	0%	110.5点	57.5点	53点	
インテン α	不合格	116点	65点	51点	4点
インテン β	不合格	105点	50点	55点	5点

インテン α が65点、インテン β が50点、差が15点あった。個人差が出たのは、上述のリスニング教育法が受講者によっては効果的であったからかもしれない。ただし、2人ではサンプル数が少なく、断定することはできないので、今後も引き続きデータ収集、分析を続けていく。

3.2. インテンリスニング試験分析

本節では、学内リスニング試験の成績を分析する。

中検リスニングは、各受験者に得点だけが通知され、各問の正誤状況は分からない。そこで筆者は、国経中国語履修者がどのような問題で得点できないかをつまびらかにするため、第83回中検実施から約1か月経った2014年7月、「中Ⅱ文」インテン履修者を対象に、中検リスニングで用いられているのと同じ形式のリスニング試験を行い、各問の正誤状況を調査した（表5）。出題形式は「長文聴解」で、中国語の長文とそれに関する質問(1)~(5)を聞き、長文の内容に即した解答を選択肢①~④の中から1つだけ選ばせた（資料7）。問題用紙には番号だけを書き、中国語の質問、選択肢は一切印刷しなかった。

【資料7】

现在十二点半。二宫还没吃午饭呢。他今天不想吃咖喱饭，也不想吃拉面，想吃套餐。学生食堂的饭菜味道不错，也不贵。他常常在那儿吃午饭。

（今12時半です。二宮さんはまだ昼ご飯を食べていません。彼は今日カレーライスを食べたくありません、ラーメンも食べたくありません、定食を食べたいです。学生食堂の料理は味が素晴らしく、値段が高くありません。彼はよくそこで昼ご飯を食べます。）

問1. 现在几点钟？（今何時ですか？）

- ①十二点十分。（12時10分。）
- ②十二点二十分。（12時20分。）
- ③十二点三十分。（12時30分。）
- ④十二点四十分。（12時40分。）

問2. 今天二宮想吃什么？（今日二宮さんは何を食べたいですか？）

①咖喱饭。（カレーライス。） ②拉面。（ラーメン。） ③面条。（麵類。） ④套餐。（定食。）

問3. 学生食堂的饭菜味道怎么样？（学生食堂の料理は味は如何ですか？）

①好吃。（美味しい。）

②不好吃。（美味しくない。）

③错。（誤っている。）

④糟。（めっちゃくちゃだ。）

問4. 学生食堂的饭菜价格怎么样？（学生食堂の料理は価格はどうですか？）

①贵。（高い。） ②便宜。（安い。） ③高了。（高くなった。） ④低。（高度が低い。）

問5. 二宮常常在哪儿吃午饭？（二宮さんはよくどこで昼ご飯を食べますか？）

①食堂。（食堂。） ②实弹。（実弾。） ③套餐。（定食。） ④饭菜。（料理。）

表4は、インテリスニング試験の平均点を、中検の合格級毎に示したものである。分析する前に、表4の3受「第83回中検3級受験者および第81回中検3級合格者」というグループについて説明しておく。インテンで、第83回中検3級を受験した者は2人で、この2人は共に不合格、第81回中検3級を受験した者は1人で、この1人は合格した。よって、前者2人と後者1人のリスニング力には一定の差があるのだが、この3人のリスニング力は「中検4級以上」という点で共通しているので、1つのグループにまとめている。

表4を見るに、3受の平均点が4.67点で最も高く、次いでj4合の3点、4合の2.7点、4不の2点であった。この調査結果は、中検の合格級が高いとリスニングの成績も良いという比例関係を示している。注目したいのは、j4合は4合を0.3点、4不を1点、上回っている。第83回準4級合格者の大半が90点以上の高得点で合格したことを鑑みるに（表1）、j4合のリスニング力は4合を上回るほど高いと考えられる。

表4からは、表2とは異なる傾向が見られる。第83回中検4級リスニングでは、課外指導受講の平均点（74.44点）が未受講（80点）を下回ったが（表2）、インテリスニング試験では、受講の平均点（2.9点）が未受講（2.636点）を0.264点、上回った。さらに、表1, 2, 3では中検リスニングとインテリスニング試験の得点を対照表示しているが、網掛けで示した履修者（インテンJ、インテンL、インテンT）は、中検4級リスニング（100点満点）とインテリスニング試験（5点満点）の成績に大きな乖離があり、4級リスニングが満点なのに、インテリスニングが0点という履修者もある。グループの平均点や個人の成績にこのような違いが生じた理由は、中検4級リスニングとインテリスニング試験の出題の違いによるものであろう。中検4級リスニングでは、音の意味が分からなくても、同じ音を含む選択肢を選べば正解となる問題が多いのだが（詳細は第

表 4. インテンリスニング試験平均点（2014年 7 月 16 日水曜日 4 限実施）

略称	グループ名	人数	平均点（5 点満点）
j 4 合	第83回中検準 4 級合格者	6 人	3 点
4 不	第83回中検 4 級不合格者	3 人	2 点
4 合	第83回中検 4 級合格者	10 人	2.7 点
3 受	第83回中検 3 級受験者および 第81回中検 3 級合格者	3 人	4.67 点
受講	リスニング課外指導受講者	9 人	2.9 点
未受講	リスニング課外指導未受講者	9 人	2.636 点

3 章第 1 節参照)、インテンリスニング試験では、長文と選択肢の関連性が弱く、長文に出てくるのと同じ音を含む選択肢を機械的に選べば正解となる設問は 1 つも無い。例えば、問 4 は“学生食堂の饭菜味道怎么样?”(学生食堂の料理は味は如何ですか?)という設問だが、長文の中では“不错”(素晴らしい)と言っているのに対し、選択肢は①好吃。(美味しい。)②不好吃。(美味しくない。)③错。(誤っている。)④糟。(めちゃくちゃだ。)—で、同じ音を含む選択肢③は否定副詞“不”が取れているので、「素晴らしい」と逆の「誤っている」という意味になってしまう。音は全く異なるが、選択肢①好吃。(美味しい。)が「素晴らしい」に最も近い意味を表していることが分からなければ、正解にたどり着けない。筆者はリスニング課外指導で、「会話や長文に否定副詞“不”が付いて登場した動詞や形容詞が、選択肢の方で肯定型で登場したら、要注意です。逆の意味になって、受験者を間違わせる選択肢ですから、引っかけられないようにしましょう。」と、リスニングのコツを伝えていた。幺书君 2004. p220 は、「新しい銀行長は誰?’など、音を聞き取れば選択肢にたどり着ける設問より、“如何?”“原因は何?”など、内容を理解し、かつ判断しなければならない設問は難易度が高い」と指摘している。課外指導では、リスニングの内容理解、判断に必要な技術を教えていたので、受講の平均点が未受講を上回り、技術に乏しい履修者は中検 4 級リスニングより成績が悪くなった、と考えられる。

表 5 は、インテンリスニング試験の各問の解答状況を中検合格級毎に示したものである。表の見方であるが、網掛けの番号が正答であり、問 1 に対して正答の選択肢③を選んだのは、第83回中検準 4 級合格者 6 人のうち 5 人であり、同グループの正答率は 83.3%、という意味である。

表 5 を見るに、中検合格級毎の正答率は、▼j 4 合が問 1 で 83.3%、問 2, 3, 5 で 66.7%、問 4 で 33.3% ▼ 4 不が問 1 で 66.7%、問 2, 3, 4, 5 で 33.3% ▼ 4 合が問 1 で 80%、問 2, 5 で 60%、問 3, 4 で 40% ▼ 3 受が問 1, 2, 3, 4 で 100%、問 5 が 66.7%—であった。この調査結果から、▼中検の合格級が高いと各問の正答率も高い▼第83回準 4 級を高得点で合格した者が多い j 4 の方が 4 合よりも 4 つの設問で正答率が高い—という、表 4 の分析結果と同様の傾向が見える。問 4 の学食の価格を問う問題では、長文の中の“不贵”(価格が高くない)を別の単語で言い換えると選択肢②“便

表 5. インテンリスニング試験各問平均点 (2014年 7月実施)

		j 4 合(6 人)	4 不 (3 人)	4 合(10人)	3 受 (3 人)
問 1	①十二点十分。	1 人(16.7%)	1 人(33.3%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
	②十二点二十分。	0 人 (0%)	0 人 (0%)	2 人 (20%)	0 人 (0%)
	③十二点三十分。	5 人(83.3%)	2 人(66.7%)	8 人 (80%)	3 人(100%)
	④十二点四十分。	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
問 2	①咖喱飯。	0 人 (0%)	1 人(33.3%)	3 人 (30%)	0 人 (0%)
	②拉面。	2 人(33.3%)	1 人(33.3%)	1 人 (10%)	0 人 (0%)
	③面条。	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
	④套餐。	4 人(66.7%)	1 人(33.3%)	6 人 (60%)	3 人(100%)
問 3	①好吃。	4 人(66.7%)	1 人(33.3%)	4 人 (40%)	3 人(100%)
	②不好吃。	1 人(16.7%)	0 人 (0%)	1 人 (10%)	0 人 (0%)
	③错。	1 人(16.7%)	2 人(66.7%)	5 人 (50%)	0 人 (0%)
	④糟。	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
問 4	①贵。	3 人 (50%)	1 人(33.3%)	4 人 (40%)	0 人 (0%)
	②便宜。	2 人(33.3%)	1 人(33.3%)	4 人 (40%)	3 人(100%)
	③高了。	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
	④低。	1 人(16.7%)	1 人(33.3%)	2 人 (20%)	0 人 (0%)
問 5	①食堂。	4 人(66.7%)	1 人(33.3%)	6 人 (60%)	2 人(66.7%)
	②实弹。	0 人 (0%)	0 人 (0%)	1 人 (10%)	0 人 (0%)
	③套餐。	2 人(33.3%)	0 人 (0%)	2 人 (20%)	1 人(33.3%)
	④饭菜。	0 人 (0%)	2 人(66.7%)	1 人 (10%)	0 人 (0%)

宜” (安い) が最も近いこと、問 5 の昼食を食べる場所を問う問題では、“那儿” (そこ) が長文の別の箇所を選択肢① “食堂” (食堂) に該当することが分からないと正解にたどり着けないが、問 4 の正答率は j 4、4 不、4 合で 3～4 割、問 5 の正答率は j 4、4 不、4 合、3 受で 3～6 割に留まり、履修者が音から意味を理解、判断する問題に相当の困難を感じていることが分かる。筆者はかつて、他大学中国語主専攻の学生を対象に資料 7 とほぼ同一の試験を行って各問の解答状況を分析し、「聞きとった音に対する義 (意味) の理解が必要な設問は解答が困難である」との結果を得たが (詳細は竹中 2011. p228～230 参照)、表 5 の結果はそれを補強するものである。

4. 分析結果の総括、提言

以上、中検リスニングの内容、その教育法、国経中国語履修者の中検リスニングの成績、学内リスニング試験の成績を分析したところ、以下のような結果を得た。

- (1) ヒント (単語表など) を与えて過去問や模擬問題を解かせる教育法は、リスニング力の向上にあまり効果的ではない。

- (2) 国経中国語履修者は、音の意味に対する理解、判断を必要とするリスニング問題に困難を感じている。
- (3) しかし中検4級リスニングでは、会話や長文と選択肢の関連性が強く、会話や長文の意味を理解していなくても、それと同じ音を含む選択肢を選べば正解する可能性が高い。
- (4) 中検合格級とリスニング力は概ね比例するが、準4級の高得点合格者は、4級合格者のリスニング力を上回る。

以上の分析結果に基づき、リスニング教育法、中検受験指導に対し、以下の2項目を提言する。

- (1) リスニング教育では、履修者が音から意味を想起できる力を育成する。リスニング力が向上すれば、リスニングが合格基準点に満たない不合格者を無くし、難易度の高い級の合格者を増やすことにつながる。筆者は新たなリスニング教育法として、2014年秋学期からリスニング・ディクテーションを取り入れている。教育結果は分析が済み次第、発表する予定である。
- (2) 成績が良い履修者には、難易度の高い級の受験を勧める。準4級合格者の中には、4級合格の力があるにもかかわらず、安全策を取って、難易度の低い級を受験する者がいる。中検では連続する2つの級（準4級と4級、4級と3級など）の試験は同日の午前、午後に分けて行われ、併願が可能なので、準4級受験者には4級、4級受験者には3級との併願を勧め、更なる上の級への挑戦を促す。

【参考文献】

- 一般財団法人日本中国語検定協会HP <http://www.chuken.gr.jp/>
 玄书君 2004. 〈听力难度成因分析〉,《第七届国家汉语教学讨论会论文集》p217~224, 北京大学出版社
 竹中佐英子 2011. 「言語背景と中国語習得・学習規則」,『目白大学人文学研究』第7号, p225~237
 竹中佐英子 2014. 「中国語教育に関する一考察（三）」,『経済論集』第39巻第2号, p37~51